

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
一、小幡西吉文書										
1		書簡								
1		小幡西吉宛青江政太郎書簡	青江政太郎	小幡西吉	昭和15年4月19日	墨書	1通(1枚)		封筒なし。小幡の枢密顧問官就任の祝辞。	12
2		小幡西吉宛有田八郎書簡	有田八郎	小幡西吉	昭和8年5月27日	墨書	1通(1通)		外務省人事整理における小幡の尽力に感謝、小幡の囑託辞退は希望通り決定、有田の近況報告。	4
3		小幡西吉宛有吉明書簡	有吉明	小幡西吉	昭和10年5月29日	墨書	1通(1通)		切手剥離。引退を撤回し中国大使就任を決意、小幡の配慮への感謝と今後の支援を依頼。	4
4		小幡西吉宛稲垣伸太郎書簡	稲垣伸太郎	小幡西吉	昭和11年1月6日	ペン	1通(2枚)		作成年は消印による。小幡の漢詩に三宅雪嶺が関心を示す。稲垣による小幡の新作漢詩講評。	12
5		小幡西吉宛稲垣伸太郎書簡	稲垣伸太郎	小幡西吉	10月28日	ペン	1通(2枚)		鳥猟の計画通知と小幡の新作漢詩講評。小幡の貴族院時代のもの。	12
6		小幡西吉宛稲田穰書簡	稲田穰	小幡西吉	昭和15年4月19日	ペン	葉書1枚		小幡の枢密顧問官就任の祝辞。裏面大浦兼武書の絵葉書。	12
7	1	小幡西吉宛井上敬次郎書簡	井上敬次郎	小幡西吉	昭和10年11月15日	ペン	1通(1枚)		丸山の手紙の送り状。	4
7	2	井上敬次郎宛丸山書簡	丸山	井上敬次郎	昭和10年11月14日	墨書	1通(1枚)		7-1に添付。寝坊して集合時間に間に合わなかったことへの御詫び。	4
8		小幡西吉宛井上敬次郎書簡	井上敬次郎	小幡西吉	昭和11年11月5日	ペン	1通(2枚)		小幡の小鳥狩参加は二八会員に通知済。	4
9		小幡西吉宛井上孝哉書簡	井上孝哉	小幡西吉	昭和15年4月18日	墨書	1通(1枚)		小幡の枢密顧問官就任の祝辞。同窓生としても光栄と。	12
10		小幡西吉宛井上雅二書簡	井上雅二	小幡西吉	昭和8年5月11日	墨書	1通(3枚)		日本クラブ入会の件、漢詩の批評を依頼。	4
11		小幡西吉宛井上雅二書簡	[井上雅二]	小幡西吉		ペン	1通(2通)		封筒なし。作成者は罫紙から推定。帰京報告と漢詩。	4
12		小幡西吉宛今関寿麿書簡	今関寿麿	小幡西吉	昭和21年4月17日	墨書	1通(1枚)		切手剥離。小幡家訪問の件と近況報告。漢詩の批評依頼。	12
13		小幡西吉宛今関寿麿書簡	今関寿麿	小幡西吉	昭和22年8月5日	墨書	葉書1枚		前月の詩信が未着のため、面会時にその内容の提示を希望。	12
14		小幡西吉追悼伝記刊行会宛今関寿麿書簡	今関寿麿	小幡西吉追悼伝記刊行会	[9月25日]	墨書	1点		封筒のみ。年月日は消印による。	6
15		小幡西吉宛宇治田直義書簡	宇治田直義	小幡西吉	[昭和12年]3月2日	墨書	1通(1通)		封筒なし、前半部断簡。作成年は推定。小幡の入閣と尽力を希望。林内閣時のものと思われる。	4
16		内田周平書簡	内田周平		昭和6年12月	オフセット	葉書1通		未使用。内田遠湖の漢詩を印刷した絵葉書。	12
17		小幡西吉宛江口定條書簡	江口定條	小幡西吉	11月15日	墨書	1通(1枚)		小幡の狩猟の獲物を頂いた御礼。封筒消印は昭和10年7月6日であり、中身が入違いの可能性あり。	4
18		小幡西吉宛王克敏書簡	王克敏	小幡西吉	[大正14年][ ]月22	墨書	1通(2枚)		作成年は推定。王克敏の近況報告。	12
19		小幡西吉宛大谷誠夫書簡	大谷誠夫	小幡西吉	昭和15年4月18日	墨書	1点		封筒のみ。	12
20		小幡西吉宛小川平吉書簡	小川平吉	小幡西吉	昭和6年2月10日	墨書	1通(1枚)		封筒なし。ドイツに大使として赴任する小幡に詩を送り、その平安を祈る。漢詩は「奉送小幡大使赴任独逸」、『伝記』462頁参照。	6
21		小幡西吉宛小川平吉書簡	小川平吉	小幡西吉	11月18日	墨書	1通(1枚)		小幡の狩猟の成果である、つぐみを頂いた御礼。	4
22		小幡西吉宛小倉正恒書簡	小倉正恒	小幡西吉	[昭和5年]8月30日	墨書	1通(1枚)		作成年は推定。封筒なし。小幡の祝辞への返礼と抱負。小倉の住友総理事就任時のものか。	12
23		小幡西吉宛小倉正恒書簡	小倉正恒	小幡西吉	昭和5年8月30日	活字	1通(1枚)		小倉の住友総理事就任に対する祝辞への礼状。	12
24	1	小幡西吉宛尾崎行雄書簡	尾崎行雄	小幡西吉	昭和8年3月27日	ペン	1通(1枚)		小幡の帰朝にもかかわらず未訪問であることを陳謝。	4

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
24	2	小幡西吉宛尾崎行雄書簡	尾崎行雄	小幡西吉	昭和8年7月5日	ペン	1通(1枚)		24-1の封筒に保管されていた。隠遁先への小幡の来遊希望。	4
25		小幡西吉宛尾崎行雄書簡	尾崎行雄	小幡西吉	[昭和8年7月5日]	ペン	1点		作成年は消印による。封筒のみ。	12
26		小幡西吉宛小田切萬壽之助書簡	小田切萬壽之助	小幡西吉	[昭和8年5月5日]	墨書	3通(3枚)		作成年月日は消印による。封筒裏「元正金支店長」と書込あり。小幡とやりとりした漢詩と思われるものが、3通同一の封筒に入っていた。	4
27		小幡西吉宛落合為誠書簡	落合為誠	小幡西吉	10月7日	墨書	1通(2枚)		「将帰郷別離諸同人」という漢詩の次韻依頼。	12
28		小幡みずゑ宛小幡文三郎書簡	小幡文三郎	小幡みずゑ	昭和22年9月8日	ペン	葉書1枚		醇一氏撮影の生前の小幡の写真を贈られたお礼。	12
29		小幡西吉宛加瀬俊一書簡	加瀬俊一	小幡西吉	昭和7年11月9日	ペン	1通(4枚)		加瀬の帰朝命令発令への助力を依頼。	12
30		小幡西吉宛加藤正治書簡	加藤正治	小幡西吉	昭和11年3月18日	墨書	1通(1枚)		切手剥離。小幡令嬢の結婚披露宴における祝辞承諾。	4
31		小幡西吉宛木部守一書簡	木部守一	小幡西吉	昭和10年10月23日	墨書	1通(1枚)		漢文による近況報告と漢詩。	12
32		小幡宛清子書簡	清子	小幡	5月24日	墨書	1通(1枚)		封筒なし。先の手紙の事をどうか宜しくと懇願。	12
33		岸本きみ子宛小松なか書簡	小松なか	岸本きみ子	昭和22年8月13日	ペン	1点		封筒のみ。	12
34		小幡西吉宛工藤家吉書簡	工藤家吉	小幡西吉	昭和15年4月19日	墨書	葉書1枚	封筒1枚	小幡の枢密顧問官就任の祝辞。付属封筒との関係は不明。	12
35		小幡西吉宛斎藤隆夫書簡	斎藤隆夫	小幡西吉	昭和22年7月31日	墨書	1通(1枚)		小幡から贈られた長文古詩の御礼と病見見舞。	12
36		小幡西吉宛幣原喜重郎書簡	幣原喜重郎	小幡西吉	昭和22年7月28日	墨書	1通(1枚)		小幡の見舞いに行けないお詫びと回復の祈念。	4
37		小幡西吉宛副島道正書簡	副島道正	小幡西吉	[昭和17年]9月3日	墨書	1通(1枚)		作成年は消印による。小幡らの手配による資金受取の報告と謝礼。	4
38		小幡西吉宛高森強太郎書簡	高森強太郎	小幡西吉	2月15日	墨書	1通(4枚)		封筒なし。外務省官吏研修所での中国語担任を希望し、小幡の協力を依頼。漢詩あり。	12
39		小幡西吉宛竹越与三郎書簡	竹越与三郎	小幡西吉	昭和11年1月3日	墨書	1通(1枚)		新年の挨拶。	4
40		小幡西吉宛張志激書簡	張志激	小幡西吉	6月1日	墨書	1通(1枚)		封筒なし。金剛経の送状。	12
41		小幡西吉宛出淵勝次書簡	出淵勝次(外務次官)	小幡西吉(トルコ大使)	[大正14年]7月23日	墨書	1通(1枚)		作成年は消印による。木島の嘱託採用の件は小幡の依頼通り決定、後藤属の件は未だ脈あり。	4
42		小幡西吉宛出淵勝次書簡	出淵勝次	小幡西吉	昭和15年4月23日	墨書	1通(2枚)		支那通である小幡の枢密顧問官就任を祝賀。	4
43		小幡西吉宛出淵勝次書簡	出淵勝次	小幡西吉	昭和17年11月2日	墨書	1通(2枚)		封筒表「大東亜省ノ件」と書込あり。大東亜省問題で奮闘する小幡を激励。	4
44		小幡みずゑ宛徳川家正書簡	徳川家正(国際事情懇話会世話人代表)	小幡みずゑ	昭和22年10月6日	タイプ	1通(2枚)		先月開催された、外交界長老五氏(小幡も含む)追悼茶話会の報告と出席者一覧。	12
45		小幡西吉宛豊田四郎書簡	豊田四郎(元陸軍測量手)	小幡西吉	昭和8年5月7日	ペン	1通(10枚)	小幡の名刺代わりの紙片1枚	『伝記』編纂時のものと思われる書き込みあり。『伝記』16～18頁に一部掲載あり。大学在学中の満鮮視察旅行で知り合った人物からの手紙。	12
46		小幡西吉宛内藤喜秀書簡	内藤喜秀	小幡西吉	[昭和15年]4月20日	墨書	1通		作成年は消印による。封筒のみ。	12
47		小幡西吉宛内藤秀因書簡	内藤秀因	小幡西吉	[昭和15年]4月20日	墨書	1通(2枚)		小幡の枢密顧問官就任の祝辞。	12
48		小幡西吉宛中川友次郎書簡	中川友次郎	小幡西吉	昭和15年4月18日	墨書	1通(1枚)		作成年は消印による。小幡の枢密顧問官就任の祝辞。	12
49		小幡西吉宛橋本萬右衛門書簡	橋本萬右衛門	小幡西吉	昭和15年4月18日	墨書	1点		封筒のみ。	12
50		小幡西吉宛林権助書簡	林権助	小幡西吉	[昭和11年]4月18日	墨書	1通(1枚)		切手剥離。作成年は消印による。民国大使を招宴するに付き小幡の出席を希望。	4
51		小幡西吉宛深井英五書簡	深井英五	小幡西吉	昭和17年10月31日	墨書	1通(1通)		最近入手した張勳所蔵書の展覧会へのお誘い。	4
52		小幡西吉宛芳若為書簡	芳若為	小幡西吉		墨書	1通(1枚)		封筒なし。中国語。小幡への離別の言葉。	12
53		小幡西吉宛前川三郎書簡	前川三郎	小幡西吉	昭和14年1月1日	活字	葉書1枚		年賀状。「恭頌昭和十四年新正」と題された漢詩掲載。	12
54		小幡みずゑ宛水野梅暁書簡	水野梅暁	小幡みずゑ	昭和22年10月5日	ペン	葉書1枚		町野武馬や石射猪太郎などの住所伝達。	12
55		小幡西吉宛松沢放讓書簡	松沢放讓	小幡西吉	昭和15年4月22日	墨書	1通(3枚)		小幡の枢密顧問官就任の祝辞と漢詩批評依頼。	12
56		小幡西吉宛松平恒雄書簡	松平恒雄	小幡西吉	11月19日	墨書	1点		作成年は消印による。封筒のみ。	12

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
57		小幡西吉宛三沢信一書簡	三沢信一	小幡西吉	昭和1年6月12日	ペン	1通(7枚)		小幡の漢詩の講評。自分の漢詩の批評依頼。	12
58		小幡西吉宛三橋久美書簡	三橋久美	小幡西吉	[昭和15年]4月22日	ペン	1通(1枚)		作成年は消印による。小幡の枢密顧問官就任の祝辞。	12
59		小幡西吉宛南弘書簡	南弘	小幡西吉	2月18日	墨書	1通(2枚)		小幡への献詩及びその批評依頼。	12
60		国士小幡大使の健在を祈る	武者小路公共・杉村陽太郎・岩村成充など	小幡西吉	[昭和7年]7月31日	ペン	葉書1枚		作成年は消印による。小幡に対する外交官の寄書。裏面はスイスの風景と思われる写真。	12
61		小幡西吉宛村田重治書簡	村田重治	小幡西吉	昭和12年3月20日	活字	葉書1枚		転居通知。	12
62		小幡西吉宛村田俊彦	村田俊彦	小幡西吉	5月1日	墨書	1通(1枚)		封筒にGHQ検閲の印あり。芸文社復興、「東華」復刊の後援を依頼。	4
63		小幡西吉宛諸橋襄書簡	諸橋襄	小幡西吉	昭和22年8月4日	墨書	葉書1枚		暑中見舞。裏面松江護国神社の絵葉書。	12
64		小幡西吉宛安岡正篤書簡	安岡正篤	小幡西吉	昭和9年12月7日	墨書	1通(1枚)	金鶏会報 癸酉第4号 昭和9年7月1日 1部	17日の参加を希望、漢詩の批評を依頼。	4
65		小幡西吉宛安岡正篤書簡	安岡正篤	小幡西吉	昭和9年12月26日	墨書	1通(1枚)		喪中欠札のお知らせと国維会への支援を依頼。	4
66		小幡西吉宛[横矢]重道書簡	[横矢]重道	小幡西吉	6月11日	墨書	1枚		前欠。「昇仙峡・天目山・天目山下景德院」などの漢詩のほか、駐独中(昭和6~8年)の小幡に対する近況報告など。	8
67		小幡西吉宛吉田伊三郎書簡	吉田伊三郎	小幡西吉	昭和7年11月12日	ペン	1通(1枚)		ドイツから帰国する小幡に対し、面談の機会を失った吉田が残念がる。吉田は満州事変の件で、国際連盟本部に向かう途中。	12
68		小幡西吉宛吉田茂書簡	吉田茂	小幡西吉	[昭和15年]9月17日	墨書	1通(1枚)		日独軍事協定に慎重な姿勢を示し、枢密院での十分な審議を希望。	4
69		小幡西吉宛吉田茂書簡	吉田茂	小幡西吉	[昭和17年]8月29日	墨書	1通(1通)		作成年は消印による。小幡を通じて外相との交渉に臨んだ結果、外相は松涛老人に対する援助を快諾、今後も仲介役としての小幡の活躍を希望。松涛老人とは牧野伸顕の事か。	4
70		小幡西吉宛渡辺考治・岡野増次郎書簡	渡辺考治・岡野増次郎	小幡西吉	昭和15年4月18日	墨書	1点		封筒のみ。	12
71		小幡西吉宛渡辺哲信書簡	渡辺哲信	小幡西吉	昭和15年5月19日	ペン	葉書1枚		狭心症の薬の詳細を報告。	12
72		小幡西吉宛Mildred書簡	Mildred	小幡西吉	昭和9年12月12日	ペン	1通(1枚)		封筒なし。英文。新年の挨拶。	12
73		書簡下書	小幡西吉			ペン	3枚		一部破損。空襲で焼失した借家の大家に陳謝。	6
74		書簡下書	小幡西吉			ペン	1枚		「金沢へ疎開」などの記述から、太平洋戦争末期のものと思われる。	8
75		宛先不明作成者不明書簡	作成者不明	宛先不明		墨書	1通(1枚)		「吉井君」呼寄の早期実行を依頼。	12
2. 個人関係										
76		[小幡西吉写真]			[大正5年]	写真	1枚		77と同一。伝記冒頭に同一写真あり。北京公使館参事官時代のもの。	1
77		[小幡西吉写真]			[大正5年]	写真	1枚		76と同一。伝記冒頭に同一写真あり。北京公使館参事官時代のもの。	6
78		[小幡西吉写真]				写真	1枚		裏面に「小幡西吉氏」とあり。76~77の写真の少し後のものと推測。	1
79		[小幡西吉写真]			[昭和6年前後]	写真	同一2枚		うち1点には表面に書込あり、ベルリン駐在時のものと判明。	1
80		[小幡西吉写真]			[昭和6年前後]	写真	1枚		表面の印字からベルリン駐在時のものと判明。	1

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
81		[小幡西吉写真]			[昭和6年前後]	写真	1枚		表面の印字からベルリン駐在時のものと判明。	1
82		[履歴書]	小幡西吉		[昭和6年前後]	ペン	3枚			3
83		履歴書	小幡西吉		昭和22年	ペン	4枚		「昭和9年7月 貴族院事務局へ提出ノ写」とあるが、昭和22年5月の枢密顧問官退官まで追記される。また最終頁には別の書体で「二十二年八月九日 逝去」の他、葬儀関連のメモ書きあり。	3
84		[小幡西吉係累一覧]				鉛筆	1枚		小幡西吉の祖父と父、兄弟とその子の名前が記載されている。	3
85		[小幡家系譜]				墨書	1枚		漢文表記。旅行日記調の記述の後、小幡家の系譜が記される。	3
86		千住名倉病院入院日記	小幡西吉		大正5年2月	墨書	1冊(28枚)	封筒1点「病状日記 大正五年」とあり	『伝記』179～185頁に大部分の掲載あり。	9
87		雑記録	小幡西吉			ペン	1冊		「アンゴラ出張」「各国大公使ト訪問交換日誌」などトルコ駐在中の記録。「アンゴラ出張」は『伝記』346～347頁に一部の掲載あり。	9
88		航西日録・帰東日誌	小幡西吉		大正14年～昭和3年	ペン	1冊		大正14年9～11月のトルコへの赴任と昭和3年10～12月のトルコより帰国の記録。	9
89		昭和四年夏八月	小幡西吉		昭和4年8月	ペン	1枚		8月10～16日の鵠沼避暑記録。	9
90		伊豆長岡入浴記	小幡西吉		昭和5年1月	墨書	3枚		昭和4年12月31日～昭和5年1月4日の記録。	9
91		血行心臓症診療日誌	小幡西吉			ペン	1枚		医師武見太郎への受診記録。欄外に別の書体で「昭和十三、四年頃？」とあり。五月と六月分。	6
92		日記	小幡西吉		昭和22年	鉛筆	1冊		手帳の日記部分を取り外したもの。	9
93		[大正3年メモ帳]			大正3年	鉛筆	1冊		新聞切抜の貼付あり。	7
94		[大正3年～4年メモ帳]			大正3年～4年	鉛筆	1冊			7
95		大正10年手帳			大正10年	鉛筆	1冊		朝鮮銀行作成の手帳。表紙なし。	7
96		大正11年手帳			大正11年	鉛筆	1冊		日本興業銀行作成の手帳。	7
97		大正14年手帳			大正14年		1冊		安田銀行作成の手帳。	7
98		昭和元年手帳			昭和元年	鉛筆	1冊		日本綿花株式会社の手帳。	7
99		昭和4年手帳			昭和4年	鉛筆	1冊		住友銀行作成の手帳。	7
100		昭和5年手帳			昭和5年	鉛筆	1冊		安田銀行作成の手帳。	7
101		昭和5年手帳			昭和5年	鉛筆	1冊		安田銀行作成の手帳。	7
102		昭和5年手帳			昭和5年		1冊		三井銀行作成の手帳。	7
103		昭和7年手帳			昭和7年	鉛筆	1冊		ドイツの手帳。	7
104		昭和8年手帳			昭和8年		1冊		三井銀行作成の手帳。	7
105		昭和9年手帳			昭和9年	鉛筆	1冊		第一生命作成の手帳。	7
106		昭和10年手帳			昭和10年		1冊		三菱銀行作成の手帳。	7
107		昭和18年手帳			昭和18年	鉛筆	1冊		三井銀行作成の手帳。	7
108		昭和21年手帳			昭和21年	鉛筆	1冊		政府の職員手帳。	7
109		手帳					1冊		外表紙のみ。	7
3. 公務関係										
110		欧洲時局と对支那政策私見(大正参年九月十四日大隈内閣総理大臣に提出せるもの)		大隈重信 (総理大臣)	大正3年9月14日	タイプ	同一2部 (各々5枚)		日本の権利獲得のため、袁世凱政府援助を主張。	2
111		对支那政策私見(大正三年十月九日内閣総理大臣大隈伯に呈せるもの)		大隈重信 (総理大臣)	大正3年10月9日	タイプ	同一2部 (各々4枚)		作成者は明治41年頃に北京へ派遣された、朝日新聞特派員。山東問題を端緒として、中国への援助と提携の強化を説く。	2

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
112		Turkey	小幡西吉		大正14年頃	ペンほか	1冊	新聞記事「アラビヤ文字を全廃」1枚	トルコ関係の英文ノート。人口や財政、歴史や地理に関するメモ書きあり。トルコ関係の仏字新聞切抜あり。	2
113		通一機密第二五号	小幡西吉(トルコ大使)	幣原喜重郎(外相)	大正15年7月19日	ペン	5枚		電信の下書。内山岩太郎(トルコ大使館書記官)ベルシャ出張の訓令依頼。5枚中4枚は依頼する訓令の内容(経済調査の重視など)。	10
114		political parties of France & their leaders	小幡西吉		[昭和3年頃]	ペン	1冊		フランスに関する英文ノート。不戦条約に関する言及あり。	5
115	1	第七二七号ノ一	森島守人(奉天総領事代理)	幣原喜重郎(外相)	昭和4年11月30日	タイプ	1枚		那士廉による情報。張学良とソ連の交渉について。	10
115	2	第七二七号ノ二	森島守人(奉天総領事代理)	幣原喜重郎(外相)	昭和4年11月30日	タイプ	1枚		那士廉による情報。張学良とソ連の交渉について。	10
116		第七二八号	森島守人(奉天総領事代理)	幣原喜重郎(外相)	昭和4年11月30日	タイプ	1枚		張学良とソ連の交渉について。	10
117		第七三〇号	森島守人(奉天総領事代理)	幣原喜重郎(外相)	昭和4年12月1日	タイプ	1枚		張学良顧問妹尾大佐の北部満洲戦地視察について。	10
118		機密第二九七号	小幡西吉(ドイツ大使)	犬養毅(外相)	昭和6年12月22日	カーボン複写(ペン)	1冊(64枚)		ヤング案規定の特別諮問委員会終了直前のため、ドイツの賠償問題に関する調査資料を報告。64枚中63枚は調査資料。	10
119		満州国家新認ニ関スル件	小幡西吉(ドイツ大使)	内田康哉(外相)	昭和7年7月	ペン	12枚		「案 万一発電ノ場合ハ要再回達」とあり。内田外相の就任を機にした意見書。満州国承認方針の再考を希望。	10
120		間島ニ於ケル独逸宣教師殺害事件ノ処理方法ニ関スル件	小幡西吉(ドイツ大使)	内田康哉(外相)	昭和7年7月10日	ペン	4枚		欄外に「案」とあり。電信の下書き。日本の責任ある行動を希望。	10
121		電報	内田康哉(外相)	小幡西吉(ドイツ大使)	昭和7年10月31日	ペン	1枚		小幡の後任に関し帰着前にアグレマンを求める意思なし。また「本大臣ノ談話云々ノ如キハ全然無根ナルニ付御含ミアリタシ」。	11
122	1	電報	内田康哉(外相)	小幡西吉(ドイツ大使)	昭和7年10月21日	ペン	1枚		欄外に「大使御承知」とあり。東郷茂徳(ドイツ大使館参事官)の後任に藤井啓之助(ハンブルグ総領事)はどうか、小幡の意見希望。	10
122	2	電報案	小幡西吉(ドイツ大使)	内田康哉(外相)	昭和7年10月21日	ペン	1枚		藤井の任命に異存なし。	10
123		一、失業者救済及失業防止ニ関スル対策	小幡西吉			鉛筆	38枚		作成者、作成年は推定。124と関連あり。ドイツの失業問題に関して纏めたもの。	2
124		二、我国ノ参考トナルヘキ社会制度	小幡西吉			鉛筆	39枚		作成者、作成年は推定。123と関連あり。7頁が2枚あるために、頁数は38となっている。ドイツの社会制度に関するもの。	2
125		怯ユル日本	ウィルヘルム・シュルツェ(フオシツェ・ツァイトング極東特派員)		昭和8年4月	タイプ	8枚		国連脱退後の日本は弱みを見せないよう威勢を張っていると指摘。その最たる例が外務省とも。	10

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
126		[東欧・南欧諸国比較表]	[小幡西吉]			ペン	1枚	封筒1点 封筒表に「貴族院時代」「浪人時代」「書簡(貴族院時代)」「独逸大使」とあり	英語表記。ギリシャ、ブルガリア、ユーゴスラビア、ルーマニア、ハンガリー、オーストリアの領土や人口、産物などを比較したもの。	2
127		世界主要国石油生産額年別表	[小幡西吉]		[昭和初期]	ペン	1枚			2
128		UNGARN	Carl Flemming u.C.T Wiskott AG, Giogau			活字	1枚		ハンガリーの地図。地名表記はドイツ語。	6
129		[外相就任辞退の表明]	小幡西吉		昭和12年3月3日	墨書	3枚		健康問題により林内閣の外相就任を辞退することを表明。	4
130		[林内閣外相選定過程の記録]	小幡西吉		昭和12年2月	ペン	2枚		小幡の二月二日～九日の行動記録。	6
131		診断書	山本松次郎(医師)	小幡西吉	昭和12年3月1日	ペン	1枚		「劇務等ヲ禁スベキモ、小診断ニ及候也」とあり、林内閣の外相就任を辞退する時のものと思われる。『伝記』401頁に関連の記述あり。	2
132		辞任願	小幡西吉	松平頼壽 (貴族院議長)	昭和15年4月	墨書	1枚	封筒1点 封筒表「小幡西吉履歴書」とあり	枢密顧問官就任に伴い、貴族院議員辞任を希望するもの。	3
133		[法案]				活字	2枚		食糧供出関係の法案。第一条～第五条部分は存在せず。	5
134		[御陪食被仰付の通知]	石渡荘太郎(宮内大臣)	小幡西吉 (枢密顧問)	昭和20年12月18日	活字	1通		封筒表を漢文草稿に使用している。	2
135		枢密院職員録			昭和21年2月15日	謄写	1冊(16頁)		議長、顧問官を始めとし、属官に至るまでの職員名	6
136		[枢密院住所録]				謄写	1枚		議長・副議長・顧問官・書記官らの連絡先を記載。	6
137		調査表提出に関する件	内閣官房長官 (西尾末広)	小幡西吉	昭和22年6月6日	鉛筆	1枚		欄外に「六月十三日枢密院事務局長曾我章ニ手交内容の提出方ヲ頼ム」とあり。GHQからの督促による調査表の提出通牒。	12
4. スクラップ										
138		新しくなつて来る支那の女(新聞切抜)			大正4年	活字	1点		新聞切抜。『北京名所案内』の表紙を台紙とする。裏面に「小幡参事官入京」(新聞記事切抜写真)あり。	8
139	1	新聞切抜 新任の小幡支那公使が新任の夕に語る 官民一同の援助に依て此大任を全うした	掲載紙不明		大正7年10月	活字	1枚		掲載紙不明の切抜。小幡に対するインタビュー記事。	11
139	2	新聞切抜 小幡由美子・醇一姉弟	掲載紙不明		大正8年5月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞写真切抜。欄外に「大正八年五月 東京にて」とあり。小幡の子供の写真。	11
140		新聞切抜 小幡公使暗殺の噂 日支密約発表に就て支那政府に嚴重な抗議 それを恨んだもの仕業か 或いは虚報か	中央新聞		大正8年2月18日	活字	1枚		中央新聞の切抜。小幡公使暗殺の噂について。	11
141		新聞切抜 小幡公使暗殺の報 外務省には何等入電無し 埴原政務局長は頑く否認す	二六新聞		大正8年2月18日	活字	1枚		二六新聞の切抜。小幡公使暗殺の噂について。	11

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
142		新聞切抜 小幡駐支公使暗殺さ るとの説 外務省へは入電がない 大阪辺の株屋の細工か	国民新聞		大正8年2月18日	活字	1枚		国民新聞の切抜。小幡公使暗殺の噂について。	11
143		新聞切抜 満都を驚かしたる 小幡公使 奇禍の訛伝	都新聞		大正8年2月18日	活字	1枚		都新聞の切抜。小幡公使暗殺の噂について。	11
144		新聞切抜 暗殺風説を言触す	大和新聞		大正8年2月	活字	1枚		大和新聞の切抜。小幡公使暗殺説は相場動揺を意 図したものと。	11
145		新聞切抜 問合はしたが噂の元	掲載紙不明		大正8年2月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。小幡公使暗殺の噂につい て。	11
146		[新聞切抜 東京駅の小幡公使 一家]	掲載紙不明		[大正10年5月]	活字	1枚		掲載紙不明の新聞写真切抜。作成年は大正10年5 月の帰朝として推定。	11
147	1	新聞切抜 腕(一)	北国新聞		大正14年9月	活字	1枚		北国新聞の切抜。トルコに赴任する小幡を同郷人 が評したもの。	11
147	2	新聞切抜 腕(二)	北国新聞		大正14年9月	活字	1枚		北国新聞の切抜。トルコに赴任する小幡を同郷人 が評したもの。	11
147	3	新聞切抜 腕(三)	北国新聞		大正14年9月	活字	1枚		北国新聞の切抜。トルコに赴任する小幡を同郷人 が評したもの。	11
147	4	新聞切抜 腕(四)	北国新聞		大正14年9月	活字	1枚		北国新聞の切抜。トルコに赴任する小幡を同郷人 が評したもの。	11
148		新聞切抜 素晴らしくいいね土 耳古の生活は！支那に就ての 感想は何もないよ	掲載紙不明		昭和3年12月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。トルコから帰朝途中、上海 寄航の際のインタビュー。	11
149		新聞切抜 日支交渉など俺の出 る幕じゃない 日土の関係益々 良好で対土輸出は一躍七百万 に上った	掲載紙不明		昭和3年12月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。トルコから帰朝途中、上海 寄航の際のインタビュー。	11
150		新聞切抜 歴史的関係も深い 対土貿易好望 交渉に当るなど は全く憶測 小幡大使昨日寄滬	掲載紙不明		昭和3年12月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。トルコから帰朝途中、上海 寄航の際のインタビュー。	11
151		新聞切抜 小幡氏は駐独大使 に 聖上陛下還幸後に上奏御 裁可を仰ぐ	東京日日新聞		昭和5年10月22日	活字	1枚		東京日日新聞の切抜。アグレマン拒否後の小幡。	11
152		新聞切抜 満洲国参議に水町 顧問官内定 他に小幡大使も有 力	掲載紙不明		昭和7年	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。満洲国参議府の日本人 参議候補について。	11
153	1	新聞切抜 小幡氏交渉を拒絶し 専任外相問題行悩む 政府な ほ望み捨てず	東京朝日新聞		昭和12年3月2日	活字	1枚		東京朝日新聞の切抜。林内閣の外相選任交渉に ついて。	11
153	2	新聞切抜 専任外相に小幡氏 一応拒絶したが受諾せん	掲載紙不明		昭和12年3月	活字	1枚		東京朝日新聞の切抜。林内閣の外相選任交渉に ついて。	11
154		新聞切抜 小幡氏に再交渉 け ふ諾否の回答を約す	掲載紙不明		昭和12年3月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。林首相と小幡の外相就任 交渉について。	11
155		新聞切抜 専任外相 小幡氏に は脈なし 佐藤大使の交渉へ	掲載紙不明		昭和12年3月	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。林内閣の外相選任交渉 について。	11
156		新聞切抜 飲む程に理路整然 墨痕踊る文の人 亡命を救った 三人男の祝福	読売新聞		昭和13年3月29日	活字	1枚		読売新聞の切抜。中華民国維新政府行政院長に 就任した梁鴻志を、小幡西吉・坂西利八郎・鎌田弥 彦が祝福。	11
157		新聞切抜 The Japanese Reception	掲載紙不明		11月7日	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。英文。中国駐在中の小幡 の記事。	11

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
158		新聞切抜 Japanese Minister to Peking H.E.. T.Obata	掲載紙不明		大正12年3月1日	活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。英文。小幡と家族の写真など掲載あり。ドイツ駐在中の小幡の記事。	11
159		新聞切抜 Die Festtafel an Dr.Solfs 70.Geburtstag	掲載紙不明		昭和7年10月	活字	1枚	新聞切抜業者の送り状 1枚 貼付状態	掲載紙不明の新聞写真切抜。独文。欄外「在日本前乙大 大使古希祝賀会此日小生演説」とあり。	11
160		新聞切抜 Hamburgs Beziehungen zu Japan	掲載紙不明			活字	1枚		掲載紙不明の新聞切抜。独文。小幡の写真などの掲載あり。ドイツ駐在中の小幡の記事。	11
5. 外交関係雑誌										
161		『霞開會会報 No.67』	霞開會		昭和26年6月25日	活字	1部(8頁)			2
162		『外交春秋』断片			昭和31年5月15日	活字	1部(6頁)		3～8頁のみ。	2
6. その他										
163		Cook-Wagons-Litsの乗船券入れ	Cook-Wagons-Lits			活字	1点	乗船券 3枚	旅行会社の作成した乗船券入れ。記述はドイツ語。	5
164		見高温泉水地区画図				活字	1枚		伊豆見高温泉の別荘地紹介。写真2枚が貼り付けられ、不動産業者によると思われる書込みあり。	8
165		戦時災害ニ因ル家屋滅失申告書	小幡西吉	藤沢税務署長	昭和20年5月	ペン	1枚		下書と思われる。提出先は「四谷税務署長」を訂正して「藤沢税務署長」となっている。	2
166		[東京倶楽部再開のお知らせ]	山田健次郎(東京倶楽部幹事)		昭和21年4月15日	謄写	1枚		表題は入力者による。裏面を税払戻などに関する下書やメモに使用している。	2
167		懐中計数盤カ					1個		ドイツ製の計算尺のようなもの。	5
168		メモ用紙					6枚		大日本セルロイド株式会社の社名が記されたメモ用紙。未使用。	8
169		絵はがき					1枚		未使用。	5
二、漢学関係資料										
1. 印刷物										
170		『詩林』第213集 断片			昭和12年前後	活字	1枚		漢詩文雑誌の一部。5～6頁。小幡の作品「海邊夏居」を掲載。	2
171		『詩林』第216集 断片			昭和13年11月	活字	1枚		漢詩文雑誌の一部。7～8頁。小幡の作品「送安岡 瓠堂出遊海外」を掲載。安岡瓠堂とは安岡正篤のこと。作成年は『伝記』486頁による。	2
172		『詩林』第250集 断片			昭和11年	活字	1枚		漢詩文雑誌の一部。5～6頁。一部に切抜跡あり。小幡の作品「壬午新年口占」を掲載。	8
173		『詩林』第254集 断片				活字	1枚		漢詩文雑誌の一部。5～6頁。小幡の作品「偶成」を掲載。	8
174		『詩林』第254集 断片				活字	1枚		漢詩文雑誌の一部。7～8頁。小幡の作品「寄懷犀 東老詞宗」を掲載。犀東とは国分種徳のこと。	8
175		『支那』断片	東亜同文会		昭和11年	活字	7枚		岩村成允「日支名士の詩篇応酬」部分。欄外に「この稿の小幡氏のもののみ翻訳願います」とあり。『伝記』史料用かと思われる。	8
176		『支那』断片	東亜同文会		昭和14年	活字	4枚		雑誌の漢詩面の一部。149～150、285～290頁。小幡の作品「野沢如洋画牧馬歌」の掲載あり。	8
177		『支那』断片	東亜同文会		[昭和15年]	活字	1枚		雑誌の漢詩面の一部。141～142頁。小幡作らしい漢詩の後半部分と、今関寿麿「寄懷龍峰樞密在湘南」などの掲載あり。281と関係あり。龍峰とは小幡の雅号。	8



小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
178		『支那』断片	東亜同文会		昭和17年7月8日	活字	1枚		欄外「十七年七月八日」とあり。雑誌の漢詩面の一部。121～124頁。小幡の作品「寄国府犀東」「湘南雑詩」の掲載あり。国府犀東とは国分種徳のことと思われる。	8
179		『東華』第146集 断片	芸文社			活字	2枚		茨生訳註「詩史(第三十八回)」の一部 37～38頁。	8
180		『東華』第151号包紙	芸文社		昭和16年2月28日	活字	1枚		「芸文社略規」の掲載あり。	8
181		『東華』第181集 断片	芸文社			活字	1枚		「海外名家詩」の24頁。	8
182		『東華』第181集 断片	芸文社			活字	1枚		第25頁部分。陳道量・兪寿滄などの作品を掲載。	8
183		漢詩欄「東海詩瀾」	掲載紙不明			活字	1枚		国分高胤(青厓)関・前川三郎(研堂)選。75～76頁。	8
184		漢詩欄「東海詩瀾」	掲載紙不明			活字	2枚		掲載紙不明。79～82頁。	8
185		漢詩欄「東海詩瀾」	掲載紙不明			活字	2枚		掲載紙不明。77～80頁。	8
186		漢詩欄「日本詩選」	掲載紙不明			活字	1枚		掲載紙不明。日本詩選の切抜。小幡の作品「聞今年豊作之報有作」の掲載あり。	8
187		壬午歳晩・癸未新年遙	小幡西吉		昭和18年	活字	1枚		字句に修正あり。壬午歳晩は『伝記』508～510頁に掲載されるが、細部が異なる。	8
188		漢詩雑誌断片	小幡西吉			活字	1枚		漢詩雑誌の一部。欄外に「※十五年四月 氏は米内内閣により枢府入りたり」とあり。	8
189		漢詩「其二 平生愛誦散人詩…」	掲載紙不明			活字	1枚		陸游(陸放翁)や蘇軾(蘇東坡)に対する漢詩が其二～五(部分)まで掲載される。	8
190		漢詩「致曾國藩」など	掲載紙不明		[昭和13年]	活字	1枚		掲載紙不明。作成年は推定。91～92頁。石達開「致曾國藩」の漢詩掲載あり。	8
191		三島君碑陰記	小幡西吉(特命全權公使)、稲垣伸太郎		大正10年6月	活字	1枚		書物の一部。作成年は碑文のもの。三島太郎碑に刻印された追悼文を掲載。	5
192		朱熹論語集註残稿	掲載紙不明			活字	1枚		掲載紙不明。	8
193		牛石慧松鹿図	掲載紙不明			活字	1枚		掲載紙不明。	8
194		凝碧樹			[昭和9年]	謄写	1点(4頁)		作成年は表紙の「甲戌来鐘初八日」という記述から推定。唐・宋・明・清の詩人の作品集。	8
195		游洛小草	今関寿麿		昭和21年6月	謄写	1点(3枚)		今関寿麿(天彭)の作品集。	8
196		山居十律	今関寿麿	小幡西吉	昭和23年4月17日	謄写	1枚		今関寿麿(天彭)の作品。	8
2. ノート										
197		消夏詩稿	小幡西吉		[昭和14年夏頃]	ペン	1冊		漢詩のノート。書中「鵠沼即事」に付された年月日から、年代を推定。裏表紙に書簡草稿あり。	8
198		昭和十五年庚辰新詩録	小幡西吉		昭和15年	ペン	1冊(22枚)		ノート1冊に漢詩が記されている。	8
199		[漢詩ノート]	小幡西吉		[昭和17年]	ペン	1点(12枚)		作成年は「壬午新年口占」などの作品より推定。天津租界問題をめぐる外国新聞の論調をまとめた印刷物の裏面を利用している。	8
200		[漢詩ノート]	小幡西吉			ペン	1冊		表紙を住所録として利用。	8
201		[漢詩ノート]	小幡西吉			ペン	1冊			8
202		昭和二十年八月十五日終戦以後 退閑詩録	小幡西吉		[昭和21年]	墨書	1点(14枚)		『伝記』521頁から一部掲載あり。枢密院の印刷物の裏面を利用している。	8
3. 筆稿										
203		将出使土国有作	小幡西吉		大正14年	墨書	1枚		前半部欠落。細部は異なるが、『伝記』460～461頁に掲載あり。	8
204		香港・新嘉坡・印度洋上口占・将出使土国有作	小幡西吉		大正14年	墨書	2枚		作成年は伝記による。「将出使土国有作」は後半欠落。『伝記』458～461頁に掲載あり。	8

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
205		漢詩「地勢東西[迎]峡中…」	小幡西吉		昭和3年	墨書	1枚		小幡の自注「昭和戊辰寿田君京遊黒海過勃須波海峽…」から、駐トルコ時代のものと思われる。勃須波海峽はボスポラス海峽か。	8
206		次韻和椿園詞宗見贈詩・寄中島不退庵在鎌倉	小幡西吉		[昭和4年]	ペン	1枚		中島不退庵とは中島真雄のこと。中島の古希という表現から、年代を推定。	8
207		昭和庚午元旦	小幡西吉		昭和5年	墨書	1枚			8
208		漢詩断片	小幡西吉		[昭和5年前後]	ペン	1枚		作成年は推定。漢詩の断片。文中の語句から官歴30年位の作品と思われる。	8
209		送龍峰大使使赴独乙	含沢		昭和6年2月	墨書	1枚		龍峰とは小幡の雅号。	8
210		石楠歌寿青厓先生八十初度	小幡西吉		昭和11年2月	墨書	3枚		欄外「昭和十一年二月」とあり。青厓先生とは国分高胤(青厓)のこと。	8
211		観黄州寒食帖	小幡西吉		昭和11年4月	墨書	4枚		欄外に「昭和十一年四月十四日詠社会上青厓先生添削」とあり。青厓先生とは国分高胤(青厓)のこと。	8
212		聞杜鵑	小幡西吉		昭和11年5月	ペン	1枚		「漢詩会課題昭和丙子五月」とあり。	8
213		寄中島貞雄在鎌倉二首・寿中島真雄翁七十八初度・聞杜鵑	小幡西吉		昭和11年6月	墨書	3枚		欄外「昭和十一年丙子六月二十日」などとあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。	8
214		追憶島川毅卿	小幡西吉		昭和11年6月	墨書	1枚		欄外「昭和丙子六月」とあり。題不明の漢詩の末尾が掲載され、前部欠落と推定される。	8
215		似布施知足次其原韻・玉翠園小集	小幡西吉		昭和11年9月	墨書	1枚		欄外「丙子九月」とあり。題不明の漢詩の末尾が掲載され、また「玉翠園小集」も後半部欠落している。	8
216		紅葉館燕集次鶴阜主人韻似許雙谿大使六首	小幡西吉		昭和11年7月	墨書	2枚		欄外「昭和丙子七月例会」とあり。『伝記』465～468頁に掲載あり。	8
217		丙子春日許雙谿大使招飲席上賦以	小幡西吉		昭和11年	墨書	1枚		国分種徳(犀東)の添削あり。	8
218		寿織田確齋翁七十七初度次韻二首・賀中島真雄翁眉寿・池亭看螢・丙子春日許雙谿大使招飲席上賦似・同席次日[叟]参贊韻戲賦	小幡西吉		昭和11年6月	墨書	5枚		欄外「昭和丙子六月詠社」とあり。許雙谿大使とは許世英のことか。細部は異なるが、『伝記』468頁に一部掲載あり。	8
219		紅葉館雅集次鶴阜主人韻似雙谿許大使六首・次同席日搜参贊韻戲賦似	小幡西吉		昭和11年6月27日	ペン	3枚		欄外「昭和丙子六月廿七日初稿来経削定」とあり。細部は異なるが、『伝記』465～469頁に掲載あり。	8
220		鵲沼海岸夏居・次布施知[足]韻却寄・訪相模川上游吉野村吉野小一郎	小幡西吉		昭和11年9月	墨書	1枚		欄外「昭和十一年九月詠社」とあり。	8
221		送落合東郭西帰次韻・寄中島不退庵	小幡西吉		昭和11年10月	墨書	1枚		欄外に「昭和十一年十月詠社」とあり。中島不退庵とは中島真雄のこと。	8
222		送落合東郭先生西帰次韻・盛京時報創刊卅周年誌喜贈中島不退庵二首	小幡西吉		昭和11年10月	墨書	2枚		欄外「昭和十一年十月詠社例会」とあり。落合東郭は落合為誠、中島不退庵は中島真雄のこと。	8
223		歳晚夜坐書懷	小幡西吉		昭和11年12月	墨書	3枚		欄外「十一年十二月」とあり。細部は異なるが、『伝記』470頁に一部掲載あり。	8
224		偶成二首	小幡西吉		昭和11年12月	墨書	1枚		欄外「昭和十一年二月」とあり。	8
225		漢詩「一篇落手散人詩…」	小幡西吉		[昭和11年]	ペン	1枚		七言律詩三句。昭和11年7月カレンダーの裏面を利用。	8
226		漢詩「平居無事日拈詩…」	小幡西吉		[昭和11年以降]	ペン	1枚		作成年は推定。書出の文は174の「偶成」と同一、他にも類似の表現あり。	8

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
227		野興早春	小幡西吉		昭和12年3月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年三月」とあり。	8
228		岡野南畝留別詩次韻寄懷北平吳子玉將軍・息心山莊次韻・次青園樞密韻却寄	小幡西吉		昭和12年6月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年六月詠社」とあり。最初の一首は多少題や表現が異なるものの、『伝記』469頁に掲載あり。	8
229		瑤台院織月妙黛大姉五十回忌辰口占	[小幡西吉]		[昭和12年6月]	墨書	1枚		後半部分は断簡。232より昭和12年6月19～20日に如来寺で誦経されたものと判る。	5
230		先考四十五回忌・亡姉五十回忌	小幡西吉		昭和12年6月	墨書	1枚			8
231		先考四十五回忌辰・亡姉五十回忌・答北平牛島生寄懷次韻三首	小幡西吉		昭和12年6月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年六月」とあり。「答北平牛島生寄懷」は細部は異なるが、『伝記』472～473頁に一首の掲載あり。	8
232		金沢兼六公園・哭有吉大使・悼五百木飄亭・黒部峡谷十一首	小幡西吉		昭和12年7月12日	墨書	4枚		欄外「詠社例会 昭和十二年七月十二日」とあり。「哭有吉大使」と「黒部峡谷」の一部は、細部は異なるが、『伝記』472～477頁に掲載あり。有吉とは有吉明のこと。	8
233		黒部溪谷	小幡西吉		昭和12年7月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年七月」とあり。細部は異なるが『伝記』473～477頁に掲載あり。	8
234		鶴沼夏居雑詩	小幡西吉		昭和12年9月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年九月詠社」とあり。	8
235		鶴沼夏居雑詩	小幡西吉		昭和12年9月	墨書	3枚		欄外「昭和十二年九月」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。細部は異なるが、『伝記』489～490頁に一部掲載あり。	8
236		帰省金澤口占	小幡西吉		昭和12年9月22日	墨書	2枚		欄外「昭和十二年九月二十二日詠社」とあり。	8
237		金沢・金沢兼六園・金沢	小幡西吉		昭和12年10月14日	墨書	3枚		欄外「昭和十二年十月十四日漢詩会犀東先生検閲」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。	8
238		次韻時事	小幡西吉		昭和12年10月	墨書	1枚		欄外「十二年十月」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。『伝記』478～480頁に掲載あり。	8
239		南朝遺蹟雑詩	小幡西吉		昭和12年11月	墨書	2枚		欄外「昭和十二年十一月詠社」とあり。『伝記』480～482頁に一部掲載あり。	8
240		南朝遺蹟雑詩	小幡西吉		昭和12年11月	墨書	3枚		欄外「昭和十二年十一月詠社例会」とあり。細部は異なるが、『伝記』480～482頁に一部の掲載あり。	8
241		神苑之朝・雪夜読書	小幡西吉		[昭和12年12月]	墨書	1枚			8
242		神苑朝・雪夜読書	小幡西吉		昭和12年12月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年十二月詠社」とあり。	8
243		恭賦神苑朝・雪夜読書	小幡西吉		昭和12年12月	墨書	1枚		欄外「昭和十二年十二月詠社」とあり。	8
244		答北平牛島生寄懷次韻三首	小幡西吉		昭和12年	墨書	1枚		年代は国分種徳(号は犀東)の添削による。二首目は『伝記』472～473頁に同一文の掲載あり。牛島生とは牛島吉郎のこと。	8
245		昭和丁丑歳秋赴伊豆熱川越年帰京得雑詩十七首	小幡西吉		昭和13年1月	墨書	2枚		欄外に「昭和十三年一月詠社」とあり。	8
246		昭和丁丑歳杪赴伊豆熱川越年帰京得雑詩十六首	小幡西吉		昭和13年1月	墨書	4枚		欄外「昭和十三年一月詠社提出詩稿」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。	8
247		梅窓圍棋	小幡西吉		昭和13年2月	墨書	1枚		欄外「昭和十三年二月謹詩会詩稿」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。	8
248		梅窓圍棋三首	小幡西吉		昭和13年2月	墨書	1枚		欄外「昭和十三年二月」とあり。	8
249		寄懷北京王叔魯・湘南望富士	小幡西吉		昭和13年6月24日	墨書	1枚		欄外「昭和十三年六月廿四日詠社」とあり。王叔魯とは王克敏のこと。細部は異なるが、『伝記』483～484頁に一部掲載あり。	8

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
250		寄懷北平老農・詠史・湘南望富士山	小幡西吉		昭和13年6月24日	墨書	1枚		欄外「昭和十三年六月二十四日詠社例会青厓詞宗覽」とあり。「湘南望富士山」は題のみで本文欠落。王叔魯とは王克敏のこと。細部は異なるが、『伝記』483～484頁に一部掲載あり。	8
251		岡野南畝将遊北平次其留別韻寄懷吳子玉將軍・哭埴原子直・息心山莊清話次青園枢密韻似梧堂主人・次青園枢密韻却寄・答北平牛島生寄懷次韻	小幡西吉		昭和13年6月	墨書	3枚		欄外「昭和十三年六月詠社」とあり。細部は異なるが「岡野南畝将遊北平次其留別韻寄懷吳子玉將軍」は『伝記』469～472頁に掲載あり。	8
252		偶感二首	小幡西吉		昭和13年7月	墨書	1枚		欄外「昭和十三年七月詠社」とあり。また「此二首詩林紙上不掲載」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。『伝記』484～486頁に掲載あり。	8
253		九月一日前夜・偶感	小幡西吉		昭和13年7月	墨書	1枚		欄外に「以下十首詠社提出検閲済」とあるが、三首しか存在せず。偶感には「此二首詩林不掲載」とあり。また偶感は『伝記』484～486頁に掲載あり。	8
254		悼五百木飄亭	小幡西吉		昭和13年7月	墨書	1枚		欄外「昭和十三年七月詠社」とあり。	8
255		偶感・歳晩書懷旧作・書懷	小幡西吉		昭和13年7月	墨書	1枚		欄外「昭和十三年七月詠社例会」とあり。細部は異なるが「偶感」は『伝記』484～485頁に掲載あり。	8
256		寿紀州上山春莊翁七十七初度・題嶽麓香邨庵次韻・戊寅夏日口占・海辺夏居・九月一日前夜・偶感二首	小幡西吉		昭和13年9月25日	墨書	2枚		欄外「昭和十三年九月二十五日詠社」とあり。	8
257		詠史・海辺夏居・九月一日前夜	小幡西吉		[昭和13年9月]	墨書	1枚		欄外「詠社提出検覧済 九首」とあるが、三首のみ。後落か。	8
258		寿紀州上山春莊翁七十七初度・嶽麓香邨庵次韻・戊寅夏日・夏居偶成・九月一日前夜大風	小幡西吉		昭和13年9月	墨書	2枚		欄外「昭和十三年九月詠社例会」とあり。	8
259		秋江泛月二首	小幡西吉		昭和13年10月8日	墨書	1枚		欄外「漢詩会課題」とあり。文末に国分種徳(犀東)の講評あり。	8
260		秋江泛月・哭稻垣木庵	小幡西吉		昭和13年10月	墨書	1枚		欄外「昭和十三年十月詠社例会」とあり。	8
261		哭稻垣木庵三首・秋江泛月	小幡西吉		昭和13年10月21日	墨書	1枚		欄外「昭和十三年十月二十一日詠社例」とあり。	8
262		答人之寄懷・送安岡瓠堂出遊海外・晩秋雜詩七首	小幡西吉		昭和13年11月	墨書	2枚		安岡瓠堂とは安岡正篤のこと。細部は異なるが、『伝記』486～488頁に一部掲載あり。	8
263		答人寄懷・送安岡瓠堂出遊海外・晩秋雜詩七首	小幡西吉		昭和13年	墨書	1枚		欄外に「昭和十三年詠社例会」とあり。「晩秋雜詩七首」とあるが一首しかないので、後落か。	8
264		[偶感]	小幡西吉		昭和13年	ペン	1枚		256の「偶感」に表現が類似するため、その草稿と推定される。	8
265		古希自述	水野鍊太郎		[昭和13年]	墨書	1枚		小幡のものと思われる返詩あり。	8
266		安格拉道中	小幡西吉		昭和14年1月	墨書	1枚		欄外「十四年一月」とあり。題不明の漢詩の末尾が掲載され、前部欠落と推定される。	8
267		次韻答三沢黙齋	小幡西吉		昭和14年1月20日	墨書	1枚		欄外「昭和十四年一月二十日」とあり。三沢黙齋とは三沢信一の雅号。	8
268		寄題萬聖閣・偶成・戊寅除夜・詠蕪詩有懷	小幡西吉		昭和14年1月24日	墨書	1枚		欄外「昭和十四年一月二十四日詠社例会」とあり。「詠蕪詩有懷」は後半部欠落。「偶成」は『伝記』489頁に掲載あり。	8
269		野沢如洋画牧馬歌	小幡西吉		[昭和14年4月]	墨書	3枚		年代は同内容の271による。	8
270		野沢如洋画牧馬歌	小幡西吉		昭和14年4月	墨書	2枚		欄外に「昭和十四年四月十八日詠社例会」とあり。文末に講評あり。	8

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
271		前田梅堂爵帥自渡州回旋	小幡西吉		昭和14年7月	墨書	1枚		欄外に「昭和十四年七月」とあり。梅堂とは前田利為の雅号。	8
272		林竹陰枢密輓詩三首	小幡西吉		昭和14年7月	墨書	1枚		欄外「昭和十四年七月詠社例会」とあり。林竹陰とは林権助のこと。『伝記』500頁に一首の掲載あり。	8
273		溪亭聴雨・林竹陰枢密輓詩三首・前田梅堂爵帥自満州回旋	小幡西吉		昭和14年7月	墨書	2枚		欄外「昭和十四年七月詠社例会」とあり。林竹陰とは林権助のこと。「林竹陰枢密輓詩」は『伝記』500頁に一部掲載あり。	8
274		鶴沼夏居雑詩	小幡西吉		昭和14年9月26日	墨書	3枚		欄外「昭和十四年九月廿六日詠社」とあり。細部は異なるが、『伝記』489～490頁に一部掲載あり。	8
275		嶽麓香村庵	小幡西吉		昭和14年11月	墨書	1枚		欄外「昭和十四年十一月詠社例会」とあり。	8
276		宮中所見 五月・恩師香魚 七月・故林竹陰男爵一年忌祭	小幡西吉		[昭和15年]	墨書	1枚		欄外に「四」とあり。林竹陰とは林権助のこと。その一年忌から年代を推定。	8
277		次韵答今関天彭寄賀詩・次韵答亀島春江寄賀詩・次韵酬玉木椿園見贈・再就官自解嘲	小幡西吉		昭和15年4月17日	墨書	1枚		作成年は最初の一首に付せられた年月日による。細部は異なるが、三首目以外は『伝記』494～497頁に掲載あり。	8
278		京都雑詩	小幡西吉		昭和15年4月	墨書	1枚		『伝記』501～503頁に一部掲載あり。	8
279		懐懷良親王 寄梧真寺主・寄懷中島不退庵	小幡西吉		昭和15年9月	墨書	1枚		欄外に「五」とあり。中島不退庵とは中島真雄のこと。	8
280		寄懷龍峰枢密在湘南別業	今関寿麿		[昭和15年]	墨書	1枚		199に同封されていた。178と関係あり。	8
281		哭桐生悠々	小幡西吉		昭和16年	墨書	1枚		欄外に「昭和十六年秋」とあり。桐生悠々は新愛知新聞の主宰者。『伝記』493～494頁に掲載あり。	8
282		靖国神社秋祭此日大雨・偶成・月明看富士	小幡西吉		昭和16年	墨書	1枚		欄外に「昭和十六年秋冬末」とあり。靖国神社秋祭此日大雨と偶成は、『伝記』499頁に類似の詩の掲	8
283		冬日龍口寺登高・哭桐生悠々	小幡西吉		[昭和16年]	墨書	1枚		桐生悠々は新愛知新聞の主宰者。『伝記』493～494頁参照。	8
284		漢詩「残年容[易]感秋風…」	小幡西吉		[昭和16年以降]	ペン	1枚		真珠湾攻撃に関する英文記事の裏面を利用しているため、昭和16年以降のものとして推測される。	8
285		漢詩「退食墾桓撫万松…」	小幡西吉		[昭和16年以降]	ペン	1枚		昭和16年付の枢密院の裏面を利用している。	8
286		壬午新年口占	小幡西吉		昭和17年1月	墨書	1枚		『伝記』504頁に掲載あり、但し削除部分も残る。国分種徳(屋東)による添削あり。	2
287		湘南偶成	小幡西吉		[昭和17年]	ペン	3枚		190・310と関係あり。細部は異なるが、『伝記』507頁に一部掲載あり。	8
288		壬午歳晩・癸未新年	小幡西吉		昭和17年	ペン	1枚		北海道庁長官石黒英彦による、開道七十周年記念式に関する通知書の裏紙を利用。細部は異なるが、『伝記』508～510頁に一部掲載あり。	8
289		[国分種徳(屋東)の講評]	国分種徳		昭和17年5月1日	墨書	1枚		国分の講評部分のみ。	8
290		漢詩「扶桑御照太平洋…」	小幡西吉		[昭和18年以降]	ペン	1枚		作成年は推定。前川三郎(研堂)の昭和18年年賀状の裏紙を利用。戦時中のものか。	8
291		漢詩「山川黄[蔭]影荒涼…」	小幡西吉		[昭和18年以降]	ペン	1枚		北アフリカ、シチリアでの連合国勝利を伝える英文記事の裏面を利用しているため、昭和18年以降のものとして推測される。	8
292		中秋西[郡]吟遊吟社課題	小幡西吉		昭和19年9月	墨書	1枚			8
293		哭近衛公	小幡西吉		[昭和20年以降]	墨書	1枚		近衛自殺後の作品か。	8
294	1	棲居口占・過廢墟有作	小幡西吉		[昭和20年以降]	ペン	2枚		終戦時の小幡の漢詩2首。	8
294	2	送り状	今関寿麿	小幡氏伝記刊行会	8月25日	墨書	1枚		小幡の漢詩を発見したため、送付するとのこと。	8
295		偶成	小幡西吉		昭和21年10月	墨書	2枚		『伝記』521～522頁に一部掲載あり。	8
296		丙戌除日口占	小幡西吉		昭和21年12月	墨書	1枚		細部は異なるが、『伝記』529～530頁に一部の掲載あり。	8

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
297		過廢墟有作	小幡西吉		昭和21年	ペン	1枚		皇室財産の損害に関する印刷物の裏紙を使用。細部は異なるが、『伝記』523、525頁に掲載あり。	8
298		廢墟述懐・偶感	小幡西吉		[昭和21年]	ペン	1枚		作成年は推定。細部は異なるが、『伝記』523～524、528～529頁に掲載あり。	8
299		丁亥歳旦口占	小幡西吉		昭和22年1月	墨書	1枚		細部は異なるが、『伝記』530頁に一部の掲載あり。	8
300		明徐幼文考	[小幡西吉]			ペン	2枚	封筒1点 封筒表に「明徐幼文考」とあり	作成者は推定。徐貢(徐幼文)に関する明史文苑高啓伝の引用1枚と、「徐貢に就きて」1枚からなる。	2
301		過対馬海峡				ペン	1枚		欄外「雅号『龍峯』の由来如何」とあり。筆跡も小幡と異なるため、『伝記』資料か。	8
302		失題	[小幡西吉]			鉛筆	1点			8
303		網羅候鳥	小幡西吉			墨書	1枚			8
304		題梧堂詞兄詩集	小幡西吉			ペン	1枚		梧堂とは井上雅二のこと。	8
305		五籟海莊歌	小幡西吉			墨書	4枚		五籟海莊とは小幡の湘南鶴沼別荘のこと。	8
306		初雪・[棲居偶拈]	小幡西吉			ペン	1枚			8
307		沆[ガイ]	小幡西吉			ペン	1枚		七言絶句の漢詩。	12
308		犀東詞宗硯[収]	小幡西吉			ペン	1枚		国分種徳(犀東)へ「偶成三首」の添削を依頼する文あり。後半部脱落と思われる。	8
309		漢詩「東坡白道每…」	小幡西吉			ペン	2枚		蘇軾(蘇東坡)に対する漢詩の草稿。	8
310		漢詩四首「香鱗上鉤足杯羹 一醉舟中起巨 二[角+光]…」	小幡西吉			墨書	1枚		欄外「4」とあるため、何かの続きか。	8
311		漢詩「白沙青松外…」	小幡西吉			ペン	1枚		裏面は今関寿麿(天彭)「清夜齋餘稿」。今関の作品への返答下書かと推定される。	8
312		漢詩「知天意遠無心独自放芥芬…」	小幡西吉			墨書	1枚		1行目が11字のため、前半部欠かと推測される。	8
313		漢詩「湘海南開碧玉盤…」	小幡西吉			墨書	1枚		七言絶句一首。	8
314		漢詩「無段日生旅庄日…」	小幡西吉			墨書	1枚		漢詩一首。	8
315		漢詩断片「神養精胸次爽…」	小幡西吉			墨書	2枚		一行目の句が六文字なので、前欠と推定される。	8
316		漢詩断片「眼底走 陽岸文明是相州…」	小幡西吉			墨書	1枚		一行目の句が三文字なので、前欠と推定される。他に「遊相模川上遊吉野村吉野氏宅賦似主人」の七言絶句あり。	8
317		偶成用龍峯先単見似詩韻	今関寿麿			墨書	1枚		今関の雅号は天彭。	8
318		恭攀 龍峰枢密三律瑤礎	国分種徳			墨書	1枚		龍峰とは小幡の雅号。国分の雅号は犀東。	8
319		漢文「大雅不作誦仙逝…」	小幡西吉			墨書	1枚		漢文。	8
320		漢文断片「…苦兵之驕今苦工…此不祥憂患真如山…」	小幡西吉			墨書	1枚		漢文の断片。	8
321		漢文断片	小幡西吉			墨書	3枚		漢文の断片。	8
322		漢詩草稿	[小幡西吉]			ペン	1枚		裏は『情報局』という冊子の奥付。	5
三、葬儀関係資料										
1. 事務										
323		記録			昭和22年8月	墨書	1綴		小幡西吉の死去に伴う各種記録。死亡日時や葬儀次第など。	5
324		引地倶楽部会員住所録	引地倶楽部		昭和21年11月	謄写	1枚		「弔問客」「通知状」「御礼状発想スミ」のチェックがあり、小幡の葬儀の際に使用されたものと推測される。	8
325		名刺 秋山昱禱	秋山昱禱			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
326		名刺 渥美育郎	渥美育郎			活字	同一2枚		葬儀関係と思われる。	12
327		名刺 石黒武重	石黒武重			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
328		名刺 大野守衛	大野守衛			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
329		名刺 岡崎勝男	岡崎勝男			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
330		名刺 岡村龍彦	岡村龍彦			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
331		名刺 小川金鱗	小川金鱗			墨書	1枚		葬儀関係と思われる。	12
332		名刺 乙津鋒次	乙津鋒次			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
333		名刺 河相達夫	河相達夫			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
334		名刺 河田烈	河田烈			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
335		名刺 後藤帰一	後藤帰一			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
336		名刺 近藤賢二	近藤賢二			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
337		名刺 佐々木計次郎 佐々木秀子	佐々木計次郎 佐々木秀子			墨書	1枚		葬儀関係と思われる。	12
338		名刺 佐々木義夫	佐々木義夫			墨書	1枚		葬儀関係と思われる。	12
339		名刺 佐藤尚武	佐藤尚武			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
340		名刺 沢田節蔵	沢田節蔵			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
341		名刺 実相寺鶴子	実相寺鶴子			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
342		名刺 七田基玄	七田基玄			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
343		名刺 瀬高宗尊	瀬高宗尊			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
344		名刺 高木復亨	高木復亨			活字	同一2枚		葬儀関係と思われる。	12
345		名刺 東海勇蔵	東海勇蔵			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
346		名刺 徳川家正	徳川家正			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
347		名刺 中橋謹二	中橋謹二			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
348		名刺 橋本萬之介	橋本萬之介			活字	同一2枚		葬儀関係と思われる。	12
349		名刺 半沢玉城	半沢玉城			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
350		名刺 船越光輔	船越光輔			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
351		名刺 古谷伝吉	古谷伝吉			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
352		名刺 町野英彦	町野英彦			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
353		名刺 松平恒雄	松平恒雄			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
354		名刺 水上純一	水上純一			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
355		名刺 水野梅暁	水野梅暁			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
356		名刺 宮島貞亮	宮島貞亮			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
357		名刺 矢田誠	矢田誠			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
358		名刺 矢野真	矢野真			鉛筆	1枚		葬儀関係と思われる。	12
359		名刺 山内四郎	山内四郎			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
360		名刺 山室宗文	山室宗文			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
361		名刺 吉田茂	吉田茂			活字	1枚		葬儀関係と思われる。	12
2. 弔文										
362		小幡みずゑ宛青江政太郎書簡	青江政太郎	小幡みずゑ	昭和22年8月14日	墨書	1通(2枚)		悔状。	12
363		小幡遺族宛青木孝書簡	青木孝	小幡遺族	昭和22年8月16日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
364		小幡遺族宛秋元春朝書簡	秋元春朝	小幡遺族	昭和22年8月13日	ペン	葉書1枚		悔状。	12
365		小幡醇一宛暁鳥敏書簡	暁鳥敏	小幡醇一	昭和22年8月26日	ペン	葉書1枚		悔状。	12
366		小幡遺族宛安宅弥吉書簡	安宅弥吉	小幡遺族	昭和22年8月12日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
367		小幡みずゑ宛天羽英二書簡	天羽英二	小幡みずゑ	昭和22年9月3日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
368		小幡醇一宛池田成彬書簡	池田成彬	小幡醇一	[昭和22年8月19日]	ペン	1通(1枚)		作成年は消印による。悔状。	12
369		小幡遺族宛伊沢多喜男書簡	伊沢多喜男	小幡遺族	昭和22年8月10日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
370		小幡遺族宛伊東弥恵治書簡	伊東弥恵治	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
371		小幡遺族宛井上一次書簡	井上一次	小幡遺族	昭和22年8月12日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12

小幡酉吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
372		小幡醇一宛井上敬次郎書簡	井上敬次郎	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
373		小幡遺族宛井上源太書簡	井上源太	小幡遺族	昭和22年8月25日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
374		小幡遺族宛沢木清治郎書簡	沢木清治郎	小幡遺族	昭和22年8月13日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
375		小幡醇一宛今井嘉幸書簡	今井嘉幸	小幡醇一	昭和22年8月19日	墨書	1通(3枚)		梅状。	12
376		小幡醇一宛潮恵之輔書簡	潮恵之輔	小幡醇一	昭和22年8月24日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
377		小幡醇一宛江口健助書簡	江口健助	小幡醇一	昭和22年8月22日	ペン	1通(1枚)		梅状。封筒なし。	12
378		小幡遺族宛大井上博書簡	大井上博	小幡遺族	昭和22年8月11日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
379		小幡遺族宛太田外世雄書簡	太田外世雄	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
380		小幡醇一宛大平駒槌書簡	大平駒槌	小幡醇一	昭和22年8月25日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
381		小幡醇一宛岡部三郎書簡	岡部三郎	小幡醇一	昭和22年8月19日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
382		小幡遺族宛奥山清治書簡	奥山清治	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
383		小幡醇一宛小倉正恒書簡	小倉正恒	小幡醇一	昭和22年9月1日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
384		小幡醇一宛笠木良明書簡	笠木良明	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
385		小幡醇一宛後藤帰一書簡	後藤帰一	小幡醇一	昭和22年9月4日	墨書	葉書1枚		梅状。	12
386		小幡みずゑ宛加藤正治書簡	加藤正治	小幡みずゑ	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
387		小幡遺族宛門野重九郎書簡	門野重九郎	小幡遺族	昭和22年8月13日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
388		小幡醇一宛河合本太郎書簡	河合本太郎	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	葉書1枚		梅状。	12
389		小幡みずゑ宛川城茂書簡	川城茂	小幡みずゑ	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
390		小幡醇一宛神田正雄書簡	神田正雄	小幡醇一	昭和22年8月25日	ペン	葉書1枚		梅状。	12
391		小幡遺族宛京野東三郎書簡	京野東三郎	小幡遺族	昭和22年8月14日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
392		小幡遺族宛釘元荒之助書簡	釘元荒之助	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		包紙のみで中身なし。	12
393		小幡遺族宛黒田周一書簡	黒田周一	小幡遺族	昭和22年8月12日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
394		小幡遺族宛公森太郎書簡	公森太郎	小幡遺族	昭和22年8月15日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
395		小幡醇一宛小坂順造書簡	小坂順造	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
396		小幡醇一宛古島一雄書簡	古島一雄	小幡醇一	昭和22年8月18日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
397		小幡醇一宛駒井徳太郎書簡	駒井徳太郎	小幡醇一	昭和22年8月22日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
398		小幡醇一宛桜内幸雄書簡	桜内幸雄	小幡醇一	昭和22年8月31日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
399		小幡醇一宛島崎鋼吉書簡	島崎鋼吉	小幡醇一	昭和22年8月21日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
400		小幡醇一宛清水澄書簡	清水澄	小幡醇一	昭和22年8月31日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
401		小幡醇一宛白石正邦書簡	白石正邦	小幡醇一	[昭和22年8月22日]	墨書	1通(1枚)		作成年は消印による。梅状。	12
402		小幡醇一宛杉村正三郎書簡	杉村正三郎	小幡醇一	昭和22年8月23日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
403		小幡遺族宛住野銀次郎書簡	住野銀次郎	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
404		小幡遺族宛杉本久太郎書簡	杉本久太郎	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	葉書1枚		梅状。	12
405		小幡遺族宛関屋貞三郎書簡	関屋貞三郎	小幡遺族	昭和22年8月14日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
406		小幡醇一宛高辻正巳書簡	高辻正巳	小幡醇一	昭和22年8月19日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
407		小幡醇一宛高橋健二書簡	高橋健二	小幡醇一	昭和22年8月19日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
408		小幡醇一宛高森強太郎書簡	高森強太郎	小幡醇一	昭和22年8月24日	墨書	1通(2枚)		梅状。	12
409		小幡醇一宛武内金平書簡	武内金平	小幡醇一	昭和22年8月18日	墨書	葉書1枚		梅状。	12
410		小幡醇一宛竹越与三郎書簡	竹越与三郎	小幡醇一	昭和22年8月28日	墨書	1通(2枚)		梅状。	12
411		小幡遺族宛田中都吉書簡	田中都吉	小幡遺族	昭和22年8月13日	ペン	1通(1枚)		梅状。	12
412		小幡醇一宛長曾我部喜一書簡	長曾我部喜一	小幡醇一	昭和22年8月19日	墨書	葉書1枚		梅状。	12
413		小幡遺族宛津久井利行	津久井利行	小幡遺族	昭和22年8月16日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
414		小幡醇一宛坪上貞二書簡	坪上貞二	小幡醇一	[昭和22年8月14日]	ペン	1通(1枚)		作成年は消印による。梅状。	12
415		小幡醇一宛土井治義書簡	土井治義	小幡醇一	昭和22年8月23日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
416		封筒切抜 外山知三	外山知三			ゴム印	1枚		葬儀関係と思われる。住所と氏名を記したものを。	12
417		小幡醇一宛中川望書簡	中川望	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
418		小幡遺族宛榑崎観一書簡	榑崎観一	小幡遺族	昭和22年8月13日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12
419		小幡醇一宛南郷三郎書簡	南郷三郎	小幡醇一	昭和22年8月19日	墨書	1通(1枚)		梅状。切手剥離。	12
420		小幡醇一宛新木たか書簡	新木たか	小幡醇一	昭和22年8月14日	墨書	1通(1枚)		梅状。	12



小幡酉吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
421		小幡醇一宛西田畊一書簡	西田畊一	小幡醇一	昭和22年8月21日	ペン	1通(2枚)		悔状。封筒なし。	12
422		小幡みずゑ宛西野元書簡	西野元	小幡みずゑ	昭和22年8月12日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
423		小幡遺族宛野崎誠近書簡	野崎誠近	小幡遺族	昭和22年8月15日	墨書	1通(2枚)		悔状。	12
424		小幡遺族宛野村吉三郎書簡	野村吉三郎	小幡遺族	昭和22年8月14日	ペン	葉書1枚		悔状。	12
425		小幡醇一宛橋本圭三郎書簡	橋本圭三郎	小幡醇一	昭和22年8月20日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
426		小幡遺族宛橋本萬右衛門書簡	橋本萬右衛門	小幡遺族	昭和22年8月13日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
427		小幡みずゑ宛八田善之進書簡	八田善之進	小幡みずゑ	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
428		小幡醇一宛林毅陸書簡	林毅陸	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		未開封。悔状カ。	12
429		小幡遺族宛林出賢次郎書簡	林出賢次郎	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
430		小幡遺族宛林弥三吉書簡	林弥三吉	小幡遺族	昭和22年8月12日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
431		小幡遺族宛林安繁書簡	林安繁	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	1通(1枚)	封筒1点	悔状。	12
432		小幡純一宛林頼三郎書簡	林頼三郎	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
433		小幡醇一宛日高信六郎書簡	日高信六郎	小幡醇一	昭和22年8月18日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
434		小幡醇一宛藤原銀次郎書簡	藤原銀次郎	小幡醇一	昭和22年8月18日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
435		小幡醇一宛堀清書簡	堀清	小幡醇一	昭和22年8月22日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
436		小幡醇一宛堀朋近書簡	堀朋近	小幡醇一	昭和22年8月27日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
437		小幡みずゑ宛本多熊太郎書簡	本多熊太郎	小幡みずゑ	昭和22年8月12日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
438		小幡みずゑ宛正木茂書簡	正木茂	小幡みずゑ	昭和22年8月14日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
439		小幡醇一宛松浦充美書簡	松浦充美	小幡醇一	昭和22年8月17日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
440		小幡みずゑ宛松平康東書簡	松平康東	小幡みずゑ	昭和22年8月28日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
441		小幡醇一宛美濃部達吉書簡	美濃部達吉	小幡醇一	昭和22年8月20日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
442		小幡遺族宛武者小路公共書簡	武者小路公共	小幡遺族	昭和22年8月19日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
443		小幡遺族宛村上恭一書簡	村上恭一	小幡遺族	昭和22年8月	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
444		小幡遺族宛村田俊彦書簡	村田俊彦	小幡遺族	昭和22年8月12日	墨書	葉書1枚		悔状。	12
445		小幡みずゑ宛矢田七太郎書簡	矢田七太郎	小幡みずゑ	昭和22年8月21日	ペン	1通(2枚)		悔状。	12
446		小幡醇一宛山川端夫書簡	山川端夫	小幡醇一	昭和22年8月18日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
447		小幡みずゑ宛山本倉松書簡	山本倉松	小幡みずゑ	昭和22年8月13日	ペン	1通(1枚)		悔状。	12
448		小幡醇一宛四辻花敬書簡	四辻花敬	小幡醇一	昭和22年8月24日	墨書	1通(2枚)		悔状。	12
449		小幡遺族宛横竹平太郎書簡	横竹平太郎	小幡遺族	[昭和22年8月14日]	墨書	1通(1枚)		作成年は消印による。悔状。	12
450		小幡遺族宛横矢重道書簡	横矢重道	小幡遺族	昭和22年8月16日	墨書	1通(1枚)		悔状。	12
451		小幡醇一宛吉家義造書簡	吉家義造	小幡醇一	昭和22年8月12日	墨書	1通(2枚)		悔状。	12
452		小幡醇一宛渡辺義郎書簡	渡辺義郎	小幡醇一	昭和22年8月13日	ペン	1通(2枚)		悔状。	12
453		小幡みずゑ宛渡辺哲信書簡	渡辺哲信	小幡みずゑ	昭和22年8月21日	墨書	1通(2枚)		悔状。	12
454		小幡みずゑ宛石射猪太郎電報	石射猪太郎	小幡みずゑ	昭和22年8月	タイプ	1枚		弔電。	12
455		小幡醇一宛井村重雄電報	井村重雄	小幡醇一	昭和22年8月13日	タイプ	1枚		弔電。	12
456		小幡みずゑ宛[カワシマ]電報	[カワシマ]	小幡みずゑ	昭和22年8月14日	タイプ	1枚		弔電。	12
457		小幡醇一宛[カワムラ]電報	[カワムラ]	小幡醇一	昭和22年8月11日	タイプ	1枚		弔電。	12
458		小幡醇一宛[カドキシンジ]電報	[カドキシンジ]	小幡醇一	昭和22年8月13日	タイプ	1枚		弔電。裏面に小幡醇一による、葬儀参列者への御礼状下書あり。	12
459		小幡醇一宛[キネブチヒトシ]電	[キネブチヒトシ]	小幡醇一	昭和22年8月16日	タイプ	1枚		弔電。	12
460		小幡遺族宛[来栖]電報	[来栖三郎]	小幡遺族	昭和22年8月14日	タイプ	1枚		弔電。	12
461		小幡醇一宛[セイ一]電報	[セイ一]	小幡醇一	昭和22年8月10日	タイプ	1枚	届先調査の付箋1枚	弔電。郵便局による届先調査の付箋あり。	12
462		小幡遺族宛[田中スエヲ]電報	[田中スエヲ]	小幡遺族	昭和22年8月12日	タイプ	1枚		弔電。	12
463		小幡みずゑ宛[藤原カマエ]電報	[藤原カマエ]	小幡みずゑ	昭和22年8月13日	タイプ	1枚		弔電。	12
464		小幡遺族宛[マチノ]電報	[マチノ]	小幡遺族	昭和22年8月12日	タイプ	1枚		弔電。	12
465		小幡遺族宛[ミシマ]電報	[ミシマ]	小幡遺族	昭和22年8月12日	タイプ	1枚		弔電。	12
466		小幡みずゑ宛[ミノタマサトミ]電	[ミノタマサトミ]	小幡みずゑ	昭和22年8月12日	タイプ	1枚		弔電。	12

小幡西吉関係文書

番号	枝番号	表題	作成者	宛先	作成年	形態	数量	付	内容・備考	元封筒
467		小幡醇一宛[村田]人事課長電報	[村田](金沢市人事課長)	小幡醇一	昭和22年8月12日	タイプ	1枚		弔電。	12
468		小幡みずゑ宛[モリヨシ]電報	[モリヨシ]	小幡みずゑ	昭和22年8月13日	タイプ	1枚		弔電。裏面に吉井秀男の住所記載あり。	12
469		小幡遺族宛[ヨシサワ]電報	[ヨシサワ]	小幡遺族	昭和22年8月13日	タイプ	1枚		弔電。	12
四、伝記資料										
470		宇治田直義宛八田三喜書簡	八田三喜	宇治田直義	4月3日・4月4日	墨書	2通(計7枚)		一つの封筒に2通の書簡が入っていた。小幡の学生時代の話。『伝記』10～12、15頁に一部記載あり。	12
471		宇治田直義宛山本英輔書簡	山本英輔	宇治田直義	昭和31年8月23日	ペン	1通(3枚)		作成年は消印による。明治33年の山本の日記写し。『伝記』37～38頁に関係あり。	12
472		ロドリゲス大使の小幡観	山崎次郎(元アルゼンチン大使)			ペン	7枚		『伝記』278～280頁に掲載あり。	11
473		小幡翁追憶	大野守衛(元特命全権大使、元藤沢市長)			ペン	4枚		『伝記』389～390頁に一部掲載あり。	11
474		硬骨漢小幡西吉	榑崎観一(毎日新聞社社友、元北京特派員)			ペン	12枚		『伝記』539～544頁に掲載あり。	11
475		政務局長時代の小幡さん	武者小路公共(元宮内省宗秩寮総裁、全権大使)			ペン	15枚		『伝記』549～555頁に掲載あり、ただ原稿は549～553頁の部分のみ。	11
476		ある日の小幡さんと宮島先生	河相達夫(元情報局総裁、外務次官、全権公使)		昭和31年6月15日	ペン	19枚		『伝記』555～563頁に掲載あり。	11
477		小幡大使の風格	内藤智秀(文学博士、回教研究者)			ペン	17枚		『伝記』575～578頁に掲載あり。	11
478		小幡西吉大使を偲んで	佐々木計(東大助教授医学博士)			ペン	7枚		『伝記』578～581頁に掲載あり。	11
479		小幡西吉氏追悼会発起人宛松浦充美書簡	松浦充美	小幡西吉氏追悼会発起人	昭和31年5月5日	墨書	1通(1枚)		明治41年、営口に立ち寄った小幡の話。『伝記』に掲載なし。	12
480		宇治田直義宛尾佐竹堅書簡	尾佐竹堅	宇治田直義	昭和32年7月30日	ペン	葉書1枚		『伝記』中、小幡の兄の文三郎に関する記述の誤りを指摘。	12
481		寄稿				ペン	1点		封筒のみ。封筒表には『伝記』に寄稿した人物の名前が列記されている。	2